

患者さんパンフレット

四国がんセンター
泌尿器科



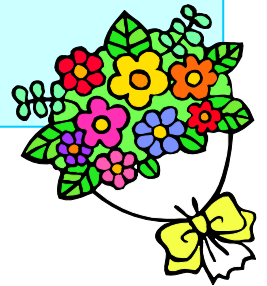
私たち医療スタッフは

- I 入院や治療に対する不安を軽減し、最良の状態で
治療が受けられるようにお手伝いいたします

- II 治療後の苦痛を軽減し、合併症を起こさず
順調に回復され安心して退院を迎えられるよう
お手伝いいたします



BCG膀胱内注入療法を 受けられる方へ



さま



主治医

受け持ち看護師

2004年9月1日 作成
2020年11月2日 改定

BCG膀胱内注入とは？

BCG膀胱内注入療法とは、BCG（弱毒化結核菌）という生菌を生理食塩液に溶かして膀胱内に注入してがん細胞を死滅させる治療のことを言います

BCGを生理食塩液に溶かしたものを、通常週1回で6週間、カテーテルを通して膀胱内に注入します

初めての注入は合併症等の確認のため、入院中に行います
問題がなければ、2回目以降は外来にて行います

① 月 日 ()	(1回目は入院中に行います)
② 月 日 ()	
③ 月 日 ()	
④ 月 日 ()	
⑤ 月 日 ()	
⑥ 月 日 ()	
⑦ 月 日 ()	
⑧ 月 日 ()	

☆今後の治療の予定を書き込んで使用してください
(1週間毎に治療があります)



治療までに準備していただきたいこと

- 他の病院で処方され、現在使用しているお薬がある方は、入院時に必ずお持ちください（入院中は原則、他の病院の受診ができないため、入院期間を含め余裕をもってお持ちください）
- **お薬手帳をお持ちの方は、入院時に必ずお持ちください**
- サプリメントを飲んでいる方は必ずお申し出ください
- 爪は短く切り、マニキュア、ペディキュア、ジェルネイル、スカルプネイルをされている方は、入院前に落としておいてください
- まつげのエクステーションをされている方は、お知らせください

<以下のものは病院で貸し出し、購入もできます>

- ねまき
 - 術衣（手術後用）、病衣
- } 「CSセットのご案内」冊子を参考にしてください
- 水のペットボトル 500ml 4本、または 2000ml 1本

*病衣は普段よりひとサイズ大きいものを準備してください

※同意書がお手元にある方は忘れずお持ちください

「入院される方へ」の
パンフレットを
参考にしてください



医療品ショップ くろ〜ば〜

当院2階 中央処置室前で営業しています
営業時間 8:30~17:00
定休日 土・日・祝日・年末年始
電話 (089) 999-1129



ダイアリー

このパンフレットには、当院での標準的な治療や日常生活で注意していただきたいポイントなどを記載しています

また、日々の目標として患者さんご自身の目標をかかげ、さらによりよい状態で退院を迎えられるよう医療スタッフの目標もあげています

入院は約3日間の予定です

治療後の回復は、個人差があり、身体の状態によっては予定どおりに進まないこともあります。その都度対応していきますので、ご安心ください

私たち医療スタッフは、これからの入院生活が不安なく送れるようにサポートさせていただきます





今日の目標

- ・入院生活、治療について医療スタッフの説明が理解できる
- ・わからないことは質問することができる

<時間>

<予定>

11:00

入院

【入院後に以下のことを予定しています】

- ・看護師から病院内、病棟内、入院生活の説明（テレビの病院案内も参考にしてください）
- ・検温、血圧測定、身体測定
- ・連絡先、既往歴、生活習慣などの聞き取り
- ・尿検査
- ・医師より治療の説明があります
ご家族の方も一緒に説明をお聞きください
- ・説明を聞いた後、納得し同意できれば同意書にサインをし、看護師にお渡しください
印鑑は必要ありません
- ・わからないことやもう少し詳しく説明を聞きたいことなどが
ありましたら、遠慮なくお聞きください

<お薬>

- ・他の病院で処方されたお薬については、一度お預かりし
医師の指示を確認後、続けるか、中止するかをお伝えします

<食事>

- ・朝食後から水分摂取を控えてください
- ・基礎疾患（糖尿病、高血圧等）がある方は、治療食となる
場合があります
- ・食物アレルギーのある方は医療スタッフにお知らせください

治療5分前

治療の準備が整いましたら看護師からお知らせします
トイレを済ませ、処置室へお越しください

MEMO

気になることや症状などを書き留めておきましょう

医療スタッフの目標

- ・入院生活や治療に対する不安がないよう支援します
- ・安心して入院生活を送られるよう支援します
- ・予定通りに治療が受けられるよう支援します





今日の目標

- 治療後、2時間排尿を我慢できる
- 排尿後2000ml以上水分をとることができる
- 38℃以上の発熱がない

<時間>	<予定>
治療後	検温 <ul style="list-style-type: none"> • 治療後、15分はうつ伏せに寝てください (15分後に声をかけますので、歩いて病室に戻りましょう) 治療後2時間は、病棟内でお過ごしください
治療 15分後	帰宅 <ul style="list-style-type: none"> • 膀胱の粘膜全体にまんべんなく薬が行き渡るよう、治療後、2時間は、排尿を我慢してください 我慢できない時は、医療スタッフへお知らせください
治療 2時間後	排尿 <ul style="list-style-type: none"> • 治療後、2時間経過したら看護師がお声かけしますので、排尿してください • 治療後最初の尿は、全てコップに採って、トイレのナースコールで知らせてください 昼食 <ul style="list-style-type: none"> • 排尿後、看護師が膀胱の中に薬が残っていないかエコーで調べますので、処置室にお越しください 30ml以上残っている場合は、管を挿入して尿を採ります • 導尿した場合は夕方、寝る前にもエコーをします 50ml以上残っている場合は、管を挿入して尿を採ります • 排尿後は石鹸でよく手を洗いましょう • 治療後2回目以降の尿は、いつも通りトイレで排尿してください

MEMO

気になることや症状などを書き留めておきましょう

<時間>	<予定>
14:00	検温
18:00	夕食
19:00	検温
21:30	消灯

19時までに約1800ml、21時までに200ml
(合計2000ml)を目標に、水分をとりましょう

下腹部の痛み、張って苦しい感じがするなどの不快な症状や度々トイレにいきたくなる、発熱等の症状があらわれることがあります
これらの症状は、ほとんどが一時的なものなので心配はありませんが、症状が強いときは医療スタッフまでお知らせください

MEMO

気になることや症状などを書き留めておきましょう

医療スタッフの目標
・合併症の早期発見に努めます



治療1日目 月 日



今日の目標

- 水分を1日1500mlを目標にとることができる
- 残尿感や排尿時の痛み、38℃以上の発熱がない
- 退院後の日常生活で不安なことを医療スタッフに伝えることができる

<時間>

<予定>

6:00	起床 検温、血圧測定
7:30	朝食 普段、飲んでいる薬はお飲みください
9:00	回診
10:00	検温、血圧測定
12:00	昼食 入浴、シャワー浴をしましょう
14:00	検温、血圧測定
18:00	夕食
19:00	検温、血圧測定
21:30	消灯

看護師が退院後の日常生活について説明します



- 発熱、排尿時の痛みがあれば、看護師にお知らせください
- 19時までに、1500mlの水分をとりましょう

MEMO

気になることや症状などを書き留めておきましょう

医療スタッフの目標

- 合併症の早期発見に努めます
- 退院後の日常生活に不安がないよう支援します



退院日（治療2日目）

月 日



今日の目標

- 水分を1日1500mlを目標にとることができる
- 残尿感や排尿時の痛み、38℃以上の発熱がない
- 退院できる

<時間>

<予定>

6:00

起床
検温、血圧測定

7:30

朝食
普段、飲んでいる薬はお飲みください

9:00

回診

退院時入院料金連絡票を、お部屋までお持ちします
2階窓口でお支払終了後、病棟まで連絡票をお持ちください
次回外来予約票をお渡しします

10:00

退院
退院前にお忘れ物がないようご確認ください

- 発熱、排尿時の痛みがあれば、看護師にお知らせください
- 19時までに1500mlの水分をとりましょう

次回外来受診日は

月 日（ ）時の予定です

MEMO

気になることや症状などを書き留めておきましょう

- 医療スタッフの目標
- 退院後の日常生活に不安がないよう支援します



尿の管が抜けた後の注意すべき症状

- 血尿が濃くなる
- 血の塊が出る
- 尿が出にくい
- 残尿感がある
- 下腹部が張る

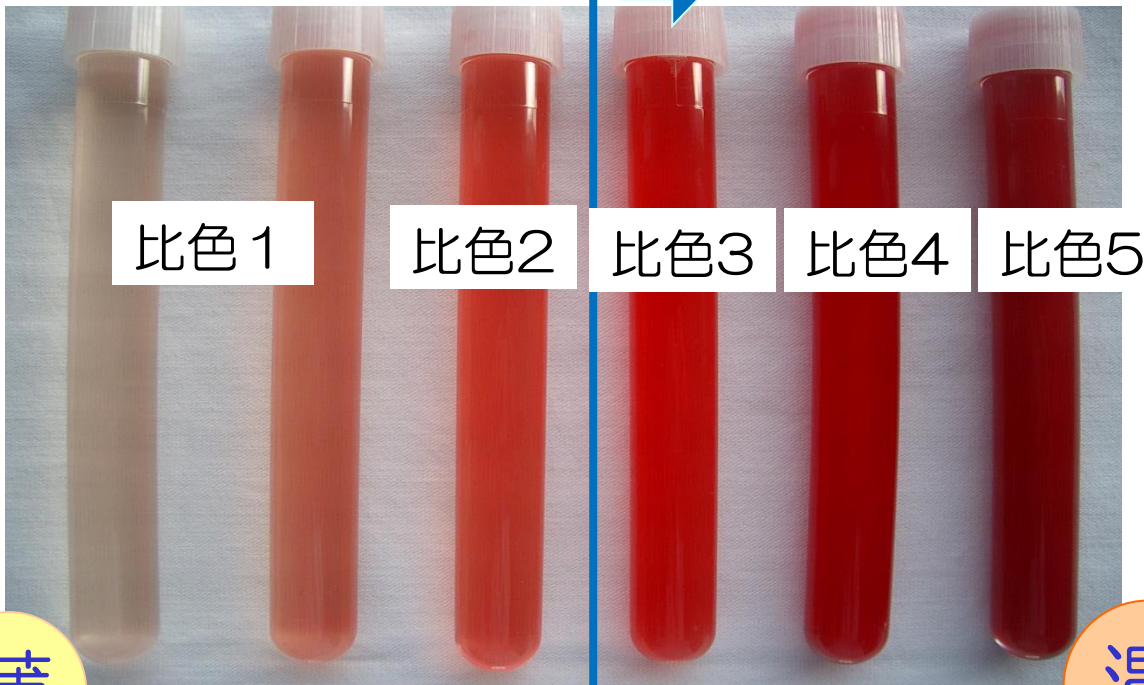
などの症状がある時は、看護師または医師にお伝えください

血尿が濃くなった場合、
カップをお渡ししますので
血尿の程度を確認してみましょう

血尿の濃さについてお聞きします
下の表を参考に、血尿の濃さ
をお伝えください



※比色3以上になったら
看護師に知らせてください



薄

濃

MEMO

気になることや症状などを書き留めておきましょう

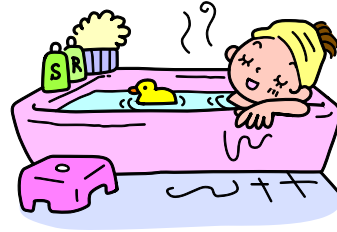
退院後の日常生活について

〈水分摂取〉

- 自宅に戻っても水分摂取を心がけましょう

〈入浴〉

- 体を清潔に保つことが大切です
入浴は、特に制限はありません



〈活動〉

- 活動に制限はありません
- 規則正しい生活をして、適度な運動をしましょう

〈お薬〉

- お薬の処方がある方は、医師の指示どおりにお飲みください
- 他の病院のお薬を服用する場合は、医師に相談してください



〈その他〉

- 定期受診は必ず受けるようにしましょう

MEMO

気になることや症状などを書き留めておきましょう



- 38℃以上の熱が出た時
- 水分摂取量に関わらず排尿ごとに血尿が濃くなる時

上記のような症状がある場合やその他ご心配なことがある場合は、
がん相談支援センターにご連絡ください

◆四国がんセンターの連絡先◆

【平日】 8:30~17:15
四国がんセンター がん相談支援センター
(直通番号) 089-999-1114

【平日上記時間外および土・日・祝祭日】
日直/夜間当直師長
(代表番号) 089-999-1111

* 外来受診日や検査予約日の変更については、
予約センターにご連絡ください

【平日】 8:30~17:15
(直通番号) 089-999-1112



BCG膀胱内注入療法を受けられる方へ